



## 平成26年度利用者の声①

サイエンスメンター制度事業は平成25・26年度の試行を踏まえて、平成27年度から公募に移行しました。国内では、前例が極めて少なく、日本の社会事情にあったサイエンスメンター制度事業を目指して、日々、工夫を重ねています。

平成26年度の試行に参加していただいたメンター・メンターズアシスタントからは事前に、メンティー・学校の先生からは研究発表会の折にアンケートをおこない、様々なご意見が寄せられました。今年度のサイエンスメンター制度事業に参加しておられる方々には、是非、参考にさせていただければと思います。

日本科学協会としては、特定の考え方に収斂させるのではなく、多様な考え方を踏まえて、サイエンスメンター制度事業の内容を少しずつ固めていければと考えております。そのためにも、実際にサイエンスメンター制度事業に関わっていただいている方々はもとより、広くご意見をお寄せいただければ幸いです。

---

### 事業についてメンター・メンターズアシスタントからのご意見

#### [メンター制度全般に関して]

1. 前もって、1年間の学校やメンティーのスケジュールが分かると指導しやすいと思います。メール以外の直接指導の機会をもう少し作れたらいいと思いました。高校では、研究を実施できる場所の確保が難しいことがわかりました。大学や研究機関の施設を借用できるようなシステムがあると良いですね。

2. こちらからメールしても返信がなく、研究室の学生と違い、あまりせつづくものはばかれる感じがあり、メンティーとどれくらいの距離を保って接していいかわからない1年でした。積極的に大学を利用していただければ、ありがたいのですが、生徒さんの性格なのかもしれません。もう少しメンターを利用していただければよかったです。この制度は、非常によいものと思っておりますので、引き続き積極的な高校生が活用してほしいと思います。

3. 基本的によい制度であると思いました。未来の科学者を育てるというのはとても重要なことですが、国家予算が重点的に配分されるような分野に偏ることなく、希望を持った若者に均等に夢を与えてあげたいと考えます。その点で、本制度はクマムシ研究のような可能性はあるが、地味な分野の課題も積極的に取り上げていただいたので、大変高く評価するものです。私のような私立大学教員では講義やその他の雑用が多く、十分にメンティーの方をサポートしてあげられなかったのではないかとやや忸怩たる思いもあります。メールのみに頼ることなく、実際にお会いして指導するような機会をもっと増やせたらよいのではないかと思います。これは制度への不満ではなく、私自身の反省点です。

4. 現役の高校生とやり取りをすることで、通常の研究室の学生や大学生と接しているのとは異なったよい刺激を受けました。(もちろん、担当したメンティーのまじめさもあります) 高校生の理解力や頑張りを実感できました。指導にはメールでのやり取りを用いましたが、電話や直接会って相談を受けることをもう少し積極的にやってもよかったですか?と思いました。そうした意味では、「中間報告会」のようなものがあると、いろいろな人からの意見を聞いて、それを反映させて「最終報告会」に活かすこともできると共に、ほかの生徒や先生とも交流を深められるのではないかと思います。この制度は、指導される高校生だけでなく、指導する教員側にも有用な制度であると思います。

6. 本制度は大変良い試みであり、有意義な成果があがりつつあるものと思いますので、是非継続されることを希望します。

#### 【個別の内容に関して】

7. 良かった点：メンティーの生徒と担当教諭のペアに対する指導ができたことは、メンターとメンティーの間にある大きな時間的・空間的制約を解消することに役立ったと思います。

9. 予想以上に、メンティーががんばってくれたため、なかなか楽しい一年でした。事務局の対応も良かったと思います。ただし、この研究分野では、研究成果を学会レベルに到達させるには、やはり困難が多いと感じました。本制度がますます発展することを祈っております。

5. 以前にもコメントをお送りしたかと思いますが、高校生は高校生なりに忙しく、なかなか大学の教員と触れ合う時間をとることが難しいのが現状です。このため、今年度の取り組みでは7日間や3日間ほどの合宿研究活動を、夏休みや秋頃の連休を利用して実施しました。大学に宿泊しながら、毎日一日中研究に取り組むという活動です。このような活動に対しても、旅費や宿泊費などの支弁をしていただけただけで、我々大学教員側としてもありがたかったです。

やはり、研究指導は直接指導教員(メンター)が学生(メンティー)と同じ時間、同じ場所を共有しながら行われるのが理想ではないかと思います。今後も形式にこだわらず、もっと自由な形の研究活動が推進できるよう、ご協力いただけたら幸いに存じます。

高校生が研究というものに触れる機会を与えてもらえるという点において、たいへん有意義な制度だと思います。間に入って頂く学校の先生がいて、密に連絡がとれると良いと思います。

8. 改善を有する点：メンティー等のPC環境が、必ずしも十分だったとは思えない状態だったような気がします。例えば、OSやソフト(PPTやWORDなど)のバージョン等がある程度標準化できれば、メール等での指導もスムーズだったものと思います。昨年度の後半からは、メーリングが機能して大分助かりましたが、私のメンティーは、最後の発表資料提出まで、事務局等にご迷惑をお掛けしてしまい、大変恐縮でした。

10. 「指導には限界を求めない」というサイエンスメンター制度の趣旨に強く賛同します。今回に指導した研究は、大学の卒論～修論レベルの内容であり、少し手を加えれば学術雑誌に投稿できると思います。優秀な高校生と一緒に研究できて、こちらも大変勉強になりました。来年度もまたよろしくお願ひします。



12. 1年間、メンターを大変楽しく務めさせていただき、ありがとうございました。最初はどの程度まで研究すべきか、何を指導すべきかなどの戸惑いもありましたが、学生の積極的な姿勢に高校生という枠をはずして研究に向き合うことができたことを感謝しております。ただし、学生の学業および私の職務から、指導できる時間が限られてしまったことはとても残念に感じております。

いろいろな制限があるとは思いますが、このような取り組みがもっともっと拡大されることによって、理科に興味をもつ多くの若い芽が、優れた科学者に着実に成長してくださることを大いに期待しております。大変貴重な経験をさせていただきましたことを、心より感謝するとともに、貴会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

11. サイエンスメンター制度の目的、取り込みは素晴らしいことと思いますし、より一層の発展を期待しております。しかしながら、現実には難しいことが多いです。私だけの問題であったかもしれませんが、互いの時間的制約が多いことから、なかなかディスカッションができずに、学生さんの考えをあまり知ることができませんでした。また、どこまで関与するべきなのかも定まらず、質問があれば答える程度になってしまい、深く指導してあげることができなく申し訳なかったとも思っています。遠距離の地から協力させて頂いて本当に役に立ったのか、わかりません。本当は生徒さんが気軽に相談に来ることができる程度の距離のところに居たほうがより効果があるのではないかと思います。



13. 自分の所属する研究室の専門分野を、外部の人に指導するという経験は、責任を感じ、自分自身の成長に繋げることができました。高校生のメンティーにとって、できるだけわかりやすく伝える様にサポートをすることで、自分の研究分野に関して更に知識を深めることもできました。また、メンティーが努力している姿に元気を貰えました。

この様なとても貴重な経験をする機会をいただけたことに感謝しています。

☆次号はメンティー・高校の先生のアンケート結果をお届けいたします。

## OB より後輩へのメッセージ

メンターの先生に質問するのをためらわないで、どんな些細な事でも相談すべきだと思います。

上手に利用していただければと思います。コミュニケーションを大切に、実験は計画的に

最後までやりきって自信を持てる結果を出しましょう

素晴らしい機会なので是非フル活用してほしい

是非、挑戦してみたい。とにかく良い経験になる

興味があればどんどんチャレンジしてほしいです。

最低限、パソコンを使ったり、常識がないととてもたくさんの方々にご迷惑をお掛けしてしまいます。

自分から積極的に行くことが大切です。

やりたいことができるめったにない機会です。知りたいこと、やりたいことは思い切ってやってみてください。

先生に頼り切らず、自分で考えられることを重視しましょう。

メンターの先生は色々な事を教えてくれると思うので先生とのやり取りを大事にしてください。気になることは気軽に質問しても良いと思います。

メンターの先生とのコミュニケーションをたくさんとり、様々な知識を増やしてほしいです。実験の途中で方針が見えなくなってしまうことがあるかも知れませんが、視点を変えたり、他の実験を探すことで新しい実験を行えると思うので頑張ってください。

### ～事務局 加瀬より～

5月に入り、そろそろ定期考査の時期でしょうか。先に載せましたが、制度を利用したOB達も言っているとおり、メンティーは自分からすすんでメールを活用していただきたいと思います。すでに活発にメンターとやり取りを行っているところもあります。メンティーのみなさん、まずはメンターへメールしましょう。

メンティー・先生・メンターのどなたでも、ニュースやニュースレターに関して、ご希望・ご意見があれば遠慮なく事務局にご連絡下さい。また、こんな情報を載せたい・知りたいというご要望をお寄せいただいても結構です。

発行元： 公益財団法人 日本科学協会 企画室

サイエンスメンターニュース 第1巻 第3号

発行日：2015年5月14日

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル 5F TEL:03-6229-5360 FAX:03-6229-5369

URL: <http://www.jss.or.jp/ikusei/mentor/>

E-mail: [kikaku@jss.or.jp](mailto:kikaku@jss.or.jp)